

<対策のポイント>

スマート農業を総合的に推進するため、**先端技術の現場への導入・実証**や、地域での戦略づくり、情報発信や教育の推進、農業データ連携基盤(WAGRI)の活用促進のための**環境整備等の取組**を支援します。

<政策目標>

農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践 [令和7年まで]

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. スマート農業加速化実証プロジェクト

○ 各地域の実情に応じたスマート農業技術体系が構築・実践されるよう、現在の技術レベルで最先端の**ロボット・AI・IoT等の技術の生産現場への導入・実証**、**技術面・経営面の効果を明らかにする取組**を支援します。

2. スマート農業普及のための環境整備

① 農林水産データ管理・活用基盤強化

農林水産省が保有・収集するデータが農業データ連携基盤 (WAGRI) においてより活用されるよう環境整備を行います。

② 農林水産業におけるロボット技術安全性確保策検討

自動走行など農業用先端ロボットの現場導入の実現に向け、**安全性確保**についての**ルールづくりや技術の検証**を支援します。

③ 次世代につなぐ営農体系確立支援

産地が抱える課題解決のため、**新技術を組み入れた新たな営農技術体系構築**の**戦略づくり、データ駆動型農業の実践体制づくり、ノウハウの横展開、情報発信**等の取組を支援します。

④ スマート農業教育推進

農業大学校等においてスマート農業のカリキュラム化を推進するため、授業で活用できる**教育コンテンツや高度な実習の機会**を提供します。

技術開発・実証

スマート農業加速化実証プロジェクト



実装・普及に向けた環境整備

産地の戦略・体制づくり



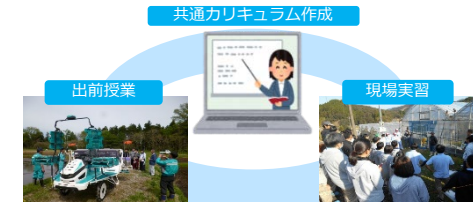
農業データ連携基盤の活用促進 (WAGRI)



ロボット技術の安全性確保

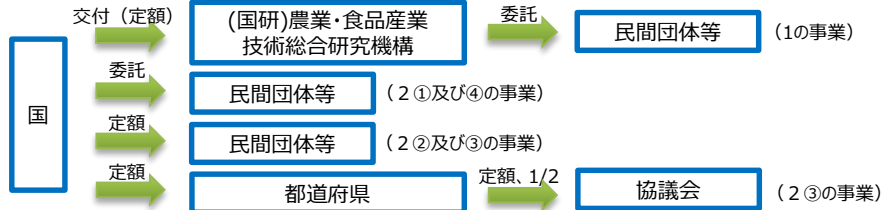


スマート農業教育の推進



スマート農業の社会実装・実践

<事業の流れ>



【お問い合わせ先】 農林水産技術会議事務局研究推進課 (03-3502-7462)